

研究室 からの メッセージ 168

Data (2019年5月現在)

所在地 〒350-1336 埼玉県狭山市柏原新田311-1
スタッフ 神庭純子 (教授), 尾崎美恵子 (准教授),
 伊藤千春 (講師), 飯塚ちひろ (助教)
URL www.bunri-c.ac.jp/univ

左から, 飯塚, 尾崎, 神庭, 伊藤



西武文理大学看護学部看護学科 公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

1999 (平成 11) 年に開学した本学は 2019 (平成 31) 年に開学 20 周年を迎えました。2009 (平成 21) 年 4 月に看護学部看護学科が開設され, 現在はサービス経営学部と看護学部の 2 学部 3 学科が設置されています。看護学部では, 開学以来, 本学が目指してきたホスピタリティ精神を看護実践の基盤として, 社会の多様なニーズに対応し, 地域社会に貢献しうる, 質の高い, 実践能力のある看護専門職者の育成を目的としています。

Education

どのような教育をしていますか？

保健師養成は 2011 (平成 23) 年度入学生から選択制となりましたが, 2 年次の「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護活動論Ⅰ」「公衆衛生看護活動論Ⅱ」は, これからの看護職にとって地域の視点を持って生活者を支えることはますます重要となるため, 必修科目としています。

選択制の 3 年後期「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」では, 「公衆衛生看護学実習Ⅰ」に連動させた地域診断や家庭訪問, 健康教育などの実践的な演習を行います。4 年前期の「公衆衛生看護活動展開論Ⅱ」は, より広域的な視点での地域診断を取り入れ, 「公衆衛生看護学実習Ⅱ」での保健所実習や学校保健等の実習につなげています。

Research

どのような研究をしていますか？

看護教育および地域における母子保健や成人保健, 高齢者保健に関するテーマにおいて, 教員それぞれの専門性を活かした研究に取り組んでいます。具体的には, 「ナイチンゲール看護論を基盤にした看護教育に関する研究」「高齢者・子ども虐待防止の支援, 地域の健康づくりに関する研究」「労働者のストレスマネジメント, レジリエンス向上に関する研究」「子育て・子育て支援を担う専門職の役割に関する研究」等です。また, 公衆衛生看護学領域の共同研究として「公衆衛生看護実践能力を育成する教育プログラムの検討」に取り組んでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学部は地域の専門職支援や子育て支援, 地域住民の健康づくり支援に積極的に参画しています。市民大学との連携講座では, 高齢者のアクティビティ・ケアの計画および実践を行い, 健康マイレージ事業では, 対象者への健康講座や身体測定会に参加するなど, 教員, 学生ともに地域の健康づくり活動に関わっています。近隣の高齢者自主組織活動に学生と教員が定期的に参加し, 対象者の血圧測定や健康相談を行いレクリエーションなどで交流しながら健康づくりをサポートしています。また, 卒業生保健師の集いを毎年定期的に開催し, 卒後保健師の成長を見守り, その活躍を応援しています。

ひとこと

保健師として地域で活躍する卒業生の存在を頼もしく感じています。学生にとっては実習施設の専門職の方々との出会いが貴重な経験の第一歩になっています。これからも共に考え学び, 成長していけるような関係性を大切にしながら教育および研究に取り組んでいきたいと思っています。

神庭

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは, このページに登場してくださる研究室 (保健師教育に関わる講座・分野・領域) を募集中です。研究室での保健師教育の特色や, 研究活動, 現場とのつながりを紹介ください。
応募方法 電話, FAX, E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。
連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@gaku-shoin.co.jp